

# 環境だより



環境課 ☎66・1122

自動車から排出される二酸化炭素や窒素酸化物は、大気汚染の元凶です。これらを改善するには、まず、ドライバー一人ひとりの環境に対する心がけが大切です。

次のチェックを実践すれば、燃費が良くなり、地球にやさしいだけでなく、燃料代も助かって一石二鳥です。皆さん、地球にやさしいドライバーを目指しましょう。

**出発前チェック**  
寒い日、暖機のため長い間エンジンをかけ放しにしていますか？

現在の自動車は、長い時間の暖機運転は、必要ありません。

## 地球にやさしいドライバー

必要のない荷物を積んだままになっていませんか？

50 kgの荷物の積み放しで、燃費が約2%悪化します。

タイヤの空気圧は適正ですか？

適正な空気圧のタイヤは、転がり抵抗が少なく、燃費が良くなります。

**走行中チェック**

さあ、信号は青へ、猛ダッシュで発進していませんか？

急発進・急加速を1日に10回すると、約120ccのガソリンを多く消費します。

道路でむやみに車線変更していませんか？

必要のない加速・減速を避け、なるべく等速走行をすると燃費が改善します。

道路での最も経済的な速度をご存じですか？

最も燃費が良いとされる経済速度は、一般道路では時速40 km、高速道路では時速80 kmといわれています。

**停車時チェック**

停車中、エンジンをかけ放しにしていますか？

不要なアイドリングはストップ！停車中はエンジンを切りましょう。

# 消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

「てんぷらをしていたら、なべから火が、早くー火が！」

女性の金切り声で119番通報は始まりました。119番を受けた職員が住所を確認したのち出動指令。その後、けが人がいないか確かめようとしていたとき、受話器の向こうで「ガタン」。何か落ちるような大きな音がして相手の声が途絶えました。「○○さんどうしました、電話に出てください。」いくら相手を呼んでも応答がありません。(まさか、煙にまかれて意識をなくして倒れたのか!)不安に駆られ、「○○さん、大丈夫ですか、早く逃げてください!」と必死に呼びましたが、返答がありません。最悪の状況が脳裏をよぎります。その数分後、消防隊の現場到着の無線が入り、通報者は動揺のあま

## こちら 119 番

り受話器を落としてしまい、そのままの外に飛び出した事がわかり、胸をなでおろしました。これは、火事に対する通報の一例です。

119番に通報すると、蒲郡市消防本部の通信指令課という部署が応対し、話の内容を聞き取って、救急車や消防車を出動させています。このように、途中で切れてしまう119番通報はめったにありませんが、真剣に通報者の身を案じるがゆえに、慌ててしまうこともあります。

しかし、通信指令課員が早合点して慌てることは、決して許されることではありません。本当に相手を気づかない、身を守る為には、落ち着いた素早い対応をする事がとても重要です。そのため、どんな状況であろうとも落ち着いて状況判断できるよう、地道なイメーजीトレーニングと実践を重ねていますのでご安心ください。

本当は、皆さんからの119番通報がかからないことが一番です。しかし、万一、通報するときにきたら、慌てないで、消防・救急隊がすぐに来てくれる事を信じ、通信指令課員の質問に正確に答えてください。